

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【公開番号】特開2015-89392(P2015-89392A)

【公開日】平成27年5月11日(2015.5.11)

【年通号数】公開・登録公報2015-031

【出願番号】特願2013-229172(P2013-229172)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月25日(2016.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記始動口への入球に起因して行なわれる前記羽根の第2回目の開放が、前記貯留機構に遊技球が貯留された以降に発射された遊技球も前記特定領域へ入球可能なタイミングで行うように設定された遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

請求項1又は2のいずれかに記載の遊技機において、

前記第2のタイミングが、前記羽根の第2回目の開放により前記入賞装置へ入球した遊技球が前記特定領域へ到達する時期と、前記貯留解除手段により前記貯留機構から解除された遊技球が前記特定領域へ到達する時期とがほぼ一致するタイミングとなるように設定された遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項2に記載の発明は、

請求項1に記載の遊技機において、

前記始動口への入球に起因して行なわれる前記羽根の第2回目の開放を、前記貯留機構に遊技球が貯留された以降に発射された遊技球も前記特定領域へ入球可能なタイミングで行うように設定した。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項3に記載の発明は、

請求項1又は2のいずれかに記載の遊技機において、

前記第2のタイミングが、前記羽根の第2回目の開放により前記入賞装置へ入球した遊技球が前記特定領域へ到達する時期と、前記貯留解除手段により前記貯留機構から解除された遊技球が前記特定領域へ到達する時期とがほぼ一致するタイミングとなるように設定した。